

6月17日(水曜日)「礼拝の幸い」

【新改訳 2017】

## 詩篇 84.1-12

「なんと幸いなことでしょう。その力が、あなたにあり、その心の中にシオンへの大路のある人は。彼らは涙の谷を過ぎるときも、そこを泉のわく所とします。初めの雨もまたそこを祝福でおおいます。」  
(5、6 節)

この詩篇を読むたびに、表現にも苦しむほどの祝福を覚えます。詩篇記者、そしてこの歌を歌った人たちは、どんなに幸福な思いで歌ったことでしょう。

- ① 主の家に住む幸いがあふれています。  
これは、礼拝の場に加わり、共に礼拝することの幸いを喜んでいるのでしょう。
- ② 神に力を見いだし、心の中に神の臨

在につながる大路があることの幸いを喜んでいます。そういう人は、どんな試練を通っても主の御力を泉のように体験して乗り越えることができます。③万軍の主なる神、まことの生ける神に信頼することを喜んでいます。

私たちは、神の宮での礼拝、神との交わり、神への信頼の幸いをこのように喜んでいるでしょうか。

～祈り～

主よ。この詩篇記者の信仰は、なんと幸いな信仰でしょうか。私たちも、いつもこのように、主ご自身と主の御力を心の中に持つ信仰者であれますように。

**【学びのために】**

「初めの雨」は「後の雨」と合わせてよく用いられます。「初めの雨」は秋の雨、「後の雨」は春の雨。

(参考区部) 1-4 節 神殿を慕うことは、  
5-7 節 巡礼者の幸福、8-12 節 祈りと  
信仰の表明。